

① 件名
次期石巻市一般廃棄物最終処分場建設候補地に係る選定委員会の設置について
② 施策等を必要とする背景及び目的（理由）
<p>【背景】 現在、既存の一般廃棄物最終処分場の埋立容量が平成34年度に満杯になる想定である。地域の清潔保持、生活環境保全及び公衆衛生の向上を図り、もって良好な都市環境の形成に資するため、平成35年度供用開始を目標として次期最終処分場の調査・計画・建設の準備を進めている。 平成28年度においては、建設候補地選定条件検討委員会を立ち上げ選定条件を精査した。</p> <p>【目的】 建設候補地選定に際し、技術的な見地に加え、行政施策上の判断が重要であり、庁内各部関係課の意見を取り入れながら、慎重に事業を進めることを目的とし、昨年度、精査された選定条件を基に建設候補地を選定する委員会を設置するもの。</p>
③ 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性
<p>【根拠法令】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年12月25日法律第137号）</p> <p>【〔総合計画との整合性 総合計画の位置付け：有・無〕 又は 〔個別計画との整合性〕】 第5章 心ゆたかな誇れるまち 第2節 身近な自然や生活環境を守る 3 循環型社会を形成する</p>
④ 提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）
<p>平成28年 3月 石巻市一般廃棄物処理基本計画策定 10月 選定条件検討委員会（計3回） ～平成29年 2月</p> <p style="text-align: right;">（選定条件検討委員会における選定条件結果：別紙（資料-1）のとおり）</p>
⑤ 主な内容
<p>1 選定委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 … 3回開催。 ・所掌事務 … (1) 次期最終処分場の建設候補地選定に関すること。 (2) その他必要と認めた事項。 ・候補地選定数 … 最終候補地（1ヶ所）を選定する。 ・委員長 … 生活環境部長 ・副委員長 … 生活環境部次長 ・委員（構成） … 次長級 復興政策部次長、総務部次長、財務部次長、復興事業部次長、 半島復興事業部次長、河北総合支所次長、雄勝総合支所次長、 河南総合支所次長、桃生総合支所次長、北上総合支所次長、 牡鹿総合支所次長、産業部次長、建設部次長、教育委員会事務局次長

2 幹事会

- ・開催回数 … 5回開催。
- ・所掌事務 … (1) 委員会の会議に付すべき事項について審議する。
(2) その他必要と認めた事項。
- ・候補地選定数 … 優先順位を付し、3ヶ所程度を選定する。
- ・幹事長 … 生活環境部次長
- ・幹事(構成) … 課長級
復興政策部復興政策課長、総務部総務課長、同部管財課長、
同部危機対策課長、財務部財政課長、復興事業部基盤整備課長、
半島復興事業部半島拠点整備推進課長、河北総合支所市民生活課長、
雄勝総合支所市民生活課長、河南総合支所市民生活課長、
桃生総合支所市民生活課長、北上総合支所市民生活課長、
牡鹿総合支所市民生活課長、生活環境部環境課長、
産業部産業推進課長、同部農林課長、建設部都市計画課長、
同部道路課長、同部建築指導課長、教育委員会生涯学習課長

⑥ 実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）

【影響・効果】

一般廃棄物最終処分場は、市民生活の環境保全を図るためには必要不可欠な施設であり、その継続的な確保は極めて重要であることから、建設候補地選定のため、庁内各部関係課の意見を取り入れるとともに、幅広い観点から議論することで、適正な検討・調整が図られる。

⑦ 他の自治体の政策との比較検討

⑧ 今後の予定及び施行予定年月日

平成29年 5月 次期石巻市一般廃棄物最終処分場建設候補地選定委員会設置
5月 幹事会開催（5回）
～8月
10月 選定委員会開催（3回）
～11月

⑨ その他

【基本計画】

施設整備計画 <最終処分場の規模>

項 目		次期最終処分場
年平均埋立量 (A)		10,150 m ³
供用予定年数 (B)		15ヶ年 (平成35年～平成49年)
計画埋立容量 (E)		182,000 m ³ (E ≒ C + D)
内 訳	基本計画 (C)	152,000 m ³ (C ≒ A × B)
	災害廃棄物見込み (D)	30,000 m ³ (D ≒ C × 約20%)
必要面積		約8.0ha

*次期最終処分場の規模は、一般廃棄物処理基本計画による。